

報道機関各位

熊本大学

シンポジウム「熊本地震による被災文化財の保存・活用の現在」

熊本大学五高記念館・化学実験場・表門・熊本大学工学部研究資料館の赤れんが建造物群は、国指定の重要文化財であり、他に類を見ない本学の重要な資産であり地域の宝です。しかし、それらは、平成28年におきた熊本地震により大きな被害を受けました。

この度、五高記念館主催により、熊本大学の赤れんが建築群や、同じように地震の被害を受けた熊本県下の文化財建造物の復旧状況と保存、活用について概説するシンポジウムを開催します。

シンポジウム第2部では、基調講演として神奈川大学工学部教授 内田青蔵氏に、近代住宅の保存、活用の最新動向についてご講演いただき、それを踏まえて熊本地震で被災した、文化財に指定されていないものの価値が高い建造物（吉田松花堂など）の保存・活用について報告・討論します。

広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

記

【内 容】

◇第1部 熊本大学における被災文化財の現在

報告者 高橋好雄 公益財団法人文化財建造物保存技術協会事業部
熊本大学（黒髪北他）五高記念館他災害復旧工事監理事務所工事主任
本田 護 熊本大学施設部施設管理課副課長

◇第2部 未指定文化財の現在

基調講演 近代住宅の保存・活用の最新動向
—「スクラップアンドビルド」から「キープアンドチェンジ」へ—
講師 内田青蔵（神奈川大学工学部建築学科教授）

パネルディスカッション

パネリスト 内田青蔵（神奈川大学工学部建築学科教授）
磯田節子（熊本高等専門学校特命客員教授）
古賀 輝（財務省九州財務局管財部 国有財産管理官）
コーディネーター 熊本大学五高記念館館長 伊東龍一

【日 時】 令和2年2月22日（土）13:00～16:30

【場 所】 熊本大学百周年記念館（熊本市中央区黒髪2丁目39番1号）

【対 象】 一般の方（興味がある方はどなたでも）

【参加費】 無料、事前申込不要

※詳しくは別紙チラシ、ホームページをご覧ください。

<http://www.goko.kumamoto-u.ac.jp/>

【お問い合わせ先】 熊本大学五高記念館

担当：藤本 薄田 市原

TEL：096-342-2050



熊本大学
五高記念館
The Memorial Museum of the Fifth High School

熊本地震による 被災文化財の 保存・活用の現在

2020.2.22.sat
13:00-16:30

熊本大学黒髪南キャンパス

工学部百周年記念館

(熊本市中央区黒髪 2-39-1 産交バス等 [熊本大学前] 下車)

申し込み・参加費不要 どなたでもご参加いただけます

主催：熊本大学五高記念館

共催：熊本大学五高記念館友の会

協力：公益財団法人文化財建造物保存技術協会 / 熊本大学施設部

後援：熊本県教育委員会 / 熊本市教育委員会

公益社団法人熊本県建築士会 / 一般社団法人日本建築学会九州支部

◇第1部 熊本大学における被災文化財の現在

報告者

公益財団法人文化財建造物保存技術協会事業部

熊本大学(黒髪北他)五高記念館他災害復旧工事

監理事務所工事主任 高橋 好夫 氏

熊本大学施設部施設管理課副課長 本田 護

◇第2部 未指定文化財の現在

基調講演 近代住宅の保存・活用の最新動向

「スクラップアンドビルド」から

「キープアンドチェンジ」へ

神奈川大学工学部建築学科教授 内田 青蔵 氏

パネルディスカッション

パネリスト

神奈川大学工学部 建築学科教授 内田 青蔵 氏

熊本高等専門学校 特命客員教授 磯田 節子 氏

財務省九州財務局管財部 国有財産管理官

古賀 輝 氏

コーディネーター

熊本大学五高記念館館長

伊東 龍一

お問い合わせ：熊本大学五高記念館

Tel 096-342-2050 Fax 096-342-2051

mail goko@kumamoto-u.ac.jp

SYMPOSIUM



重要文化財「江藤家住宅」(大津町)の復旧工事の様子

